

第4次総合計画策定のための市民アンケート調査結果

(概要版)

(1) 目的

本市の現状に対する評価や今後のまちづくりの方向性などについて、幅広い市民層から率直な意見を求め、第4次総合計画(計画年度:平成18年度~)策定の参考とするため、アンケート調査を実施した。

(2) 調査方法

1. 調査対象

小学校区人口を考慮し、市民3,081人を無作為抽出。
(対象年齢16歳以上・外国人を含む。)

2. 調査方法

対象者に郵送で調査票を配布し、郵送で回収。

3. 調査期間

平成15年7月16日(水)発送

平成15年8月12日(火)期限

(3) 調査内容

1. 現在の河内長野市について

2. これからのまちづくりについて

(4) 調査結果

有効発送者数 3,071名 (不到達数 10名)

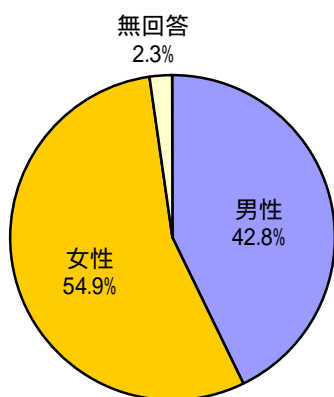
有効回収数 1,842名

有効回収率 60.0%

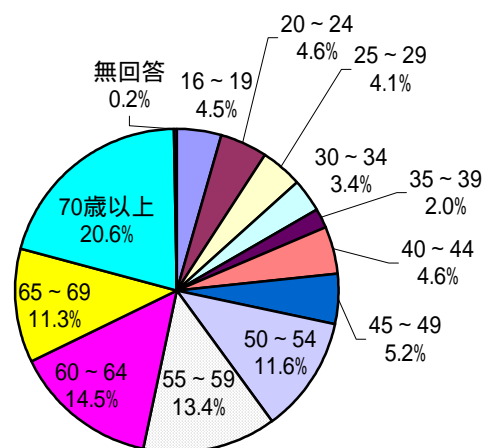
1 回答者の属性

性別では、女性（54.9%）が男性（42.8%）を上回っています。また、年齢別では、70歳以上が20.6%を占めるなど、高齢者の回答者比率が高い傾向があります。

回答者性別の内訳(N=1842)



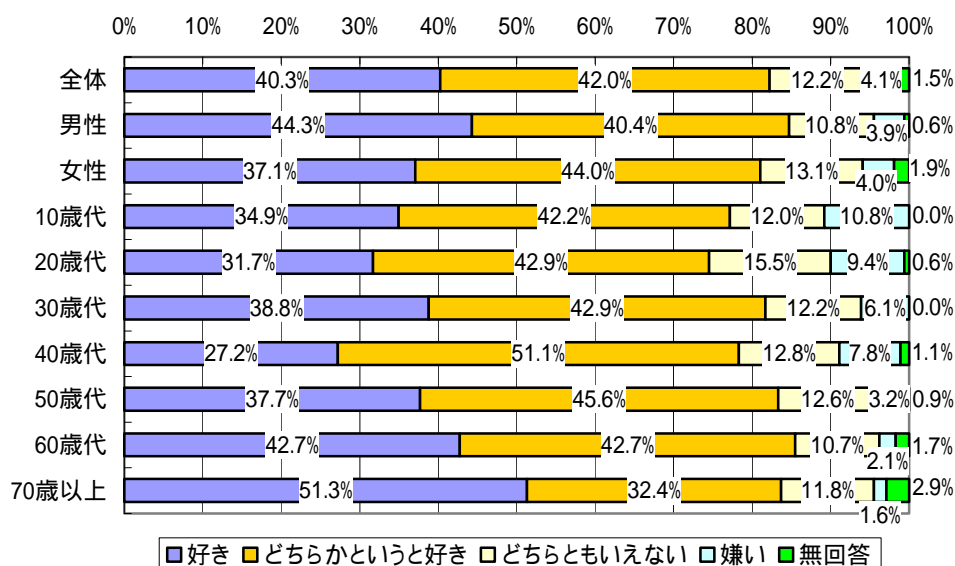
回答者年齢別内訳(N=1842)



2 河内長野市に対する好感度

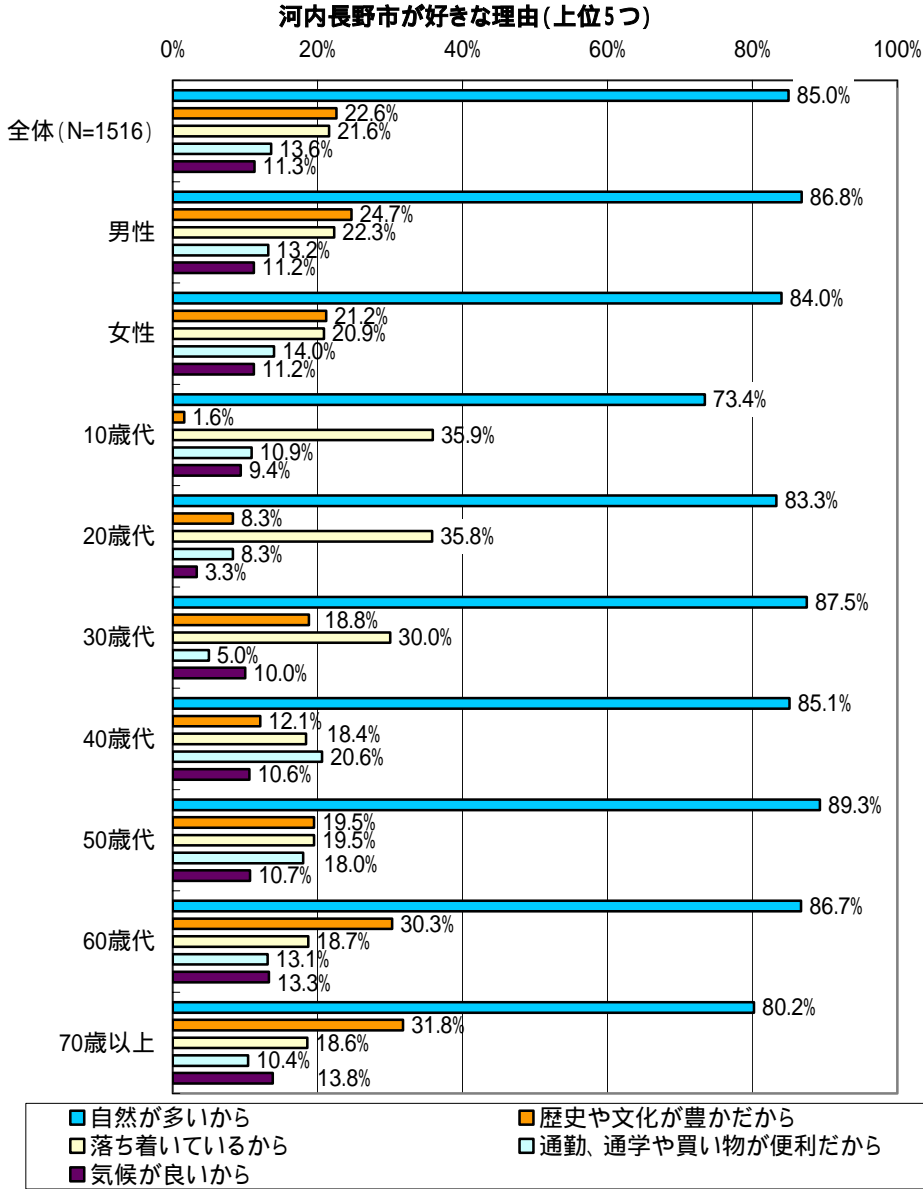
全体で82.3%の回答者が「好き」もしくは「どちらかという好き」を選んでいました。年齢別では60歳代（「好き」+「どちらかという好き」：85.4%）をはじめ、高齢層で好感度が高い傾向があります。

河内長野市に対する好意度(N=1842)



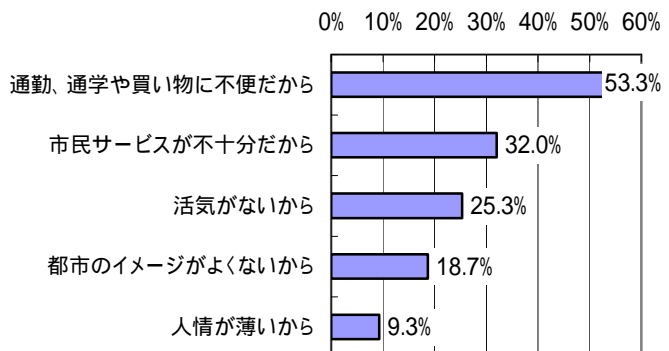
3 河内長野市が好きな理由（複数回答）

「自然が多いから」が 85.0% で他を大きく引き離しています。性別では大きな変化は見られませんが、年齢別では、10 歳代、20 歳代、30 歳代の若年層で「落ち着いているから」と回答した人が多く、60 歳代、70 歳代の高年齢層では、「歴史や文化が豊かだから」を選んだ人が比較的多くなっています。



河内長野市が嫌いな理由 (N=75、上位5項目)

一方、「河内長野市に対する好感度」で「嫌い」を選んだ回答者を対象に理由を尋ねたところ、通勤や買い物に不便だから（53.3%）が最も多くなっています。

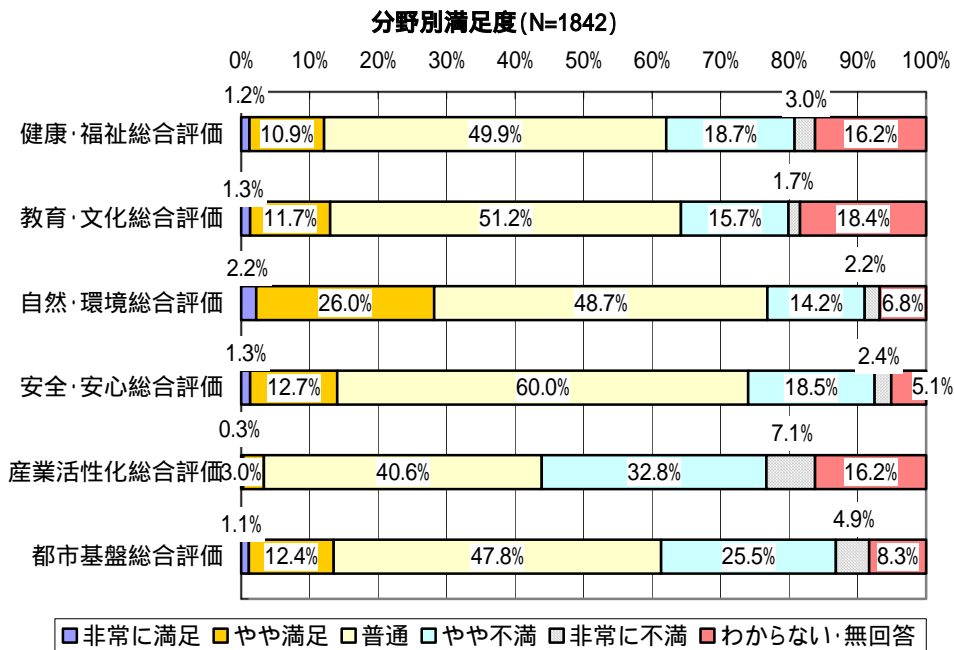


4 市の現状に対する満足度

現在の河内長野市に対する市民の評価を把握するために、「健康・福祉」「教育・文化」「自然・環境」「安全・安心」「産業」「都市基盤」の6分野24項目（下表参照）について、5段階で評価してもらいました。

分野別総合評価では、「自然・環境」への総合評価が高い一方、「産業活性化」への満足度が低くなっています。

健康・福祉	高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ	安全・安心	交通安全
	児童に対する福祉や子育てのしやすさ		防犯
	スポーツなど健康づくりの場や機会		消防・救急・防災
	以上を含めた全体としての「健康・福祉」について		以上を総合したまち全体としての「安全・安心」について
教育・文化	生涯学習の充実	産業	商業地などのにぎわい
	文化・芸術活動などの環境		日常的なレジャーや娯楽などの環境
	小中学校や幼稚園の教育環境		身近な場での働きやすさ
	以上を含めた全体としての「教育・文化」について		以上を総合したまち全体としての「産業の活性化」について
自然・環境	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	都市基盤	バスなどの公共交通サービス
	町並み・自然・歴史などの美しさ		道路や橋などの交通網
	騒音・悪臭などの少なさ		公園や緑地などの環境
	以上を含めた全体としての「自然や環境への配慮」について		以上を総合した全体としての「都市基盤の整備」について



5 政策重視度順位

前頁 6 分野について、どの分野をより重視するべきであるか、優先順位を付けました。方法は、比較をする 2 分野を抽出し（例「健康や福祉の向上」と「教育や文化の向上」）、どちらが、「非常に重要」あるいは「重要」「やや重要」か、を選んでもらい、この比較を全ての分野において行いました。

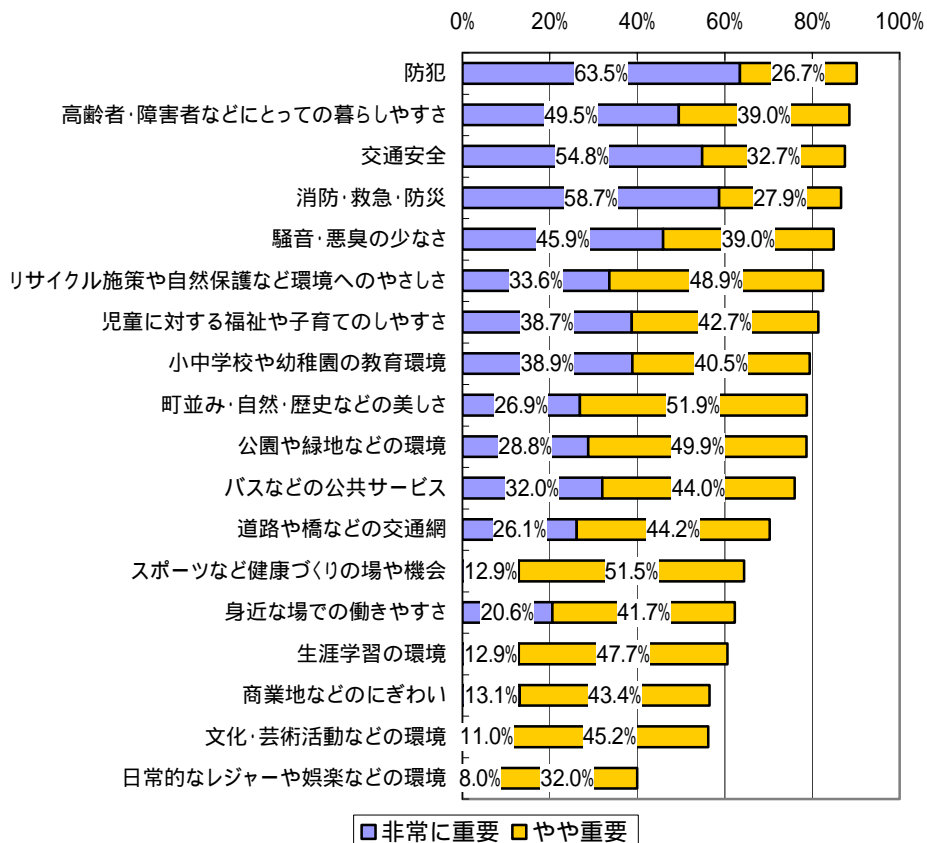
結果は、「安全や安心の向上」が最も重視され、「自然や環境への配慮」「健康や福祉の向上」「都市基盤の整備」「教育や文化の向上」「産業の活性化」と続きました。

	全体	男性	女性	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康や福祉の向上	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4
教育や文化の向上	5	5	5	4	6	6	4	5	6	6
自然や環境への配慮	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
安全や安心の向上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
産業の活性化	6	6	6	6	5	5	6	6	5	5
都市基盤の整備	4	4	4	5	3	4	5	4	3	3

6 今後重視すべき施策

今後の重視すべき施策について、18 項目について、「非常に重要」「やや重要」「あまり重要でない」「重要ではない」「わからない」の 5 段階で評価してもらったところ、防犯（「非常に重要」+「やや重要」：90.2%）を重視する割合が最も高く、以下、「高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ」（88.5%）、「交通安全」（87.5%）が続いています。

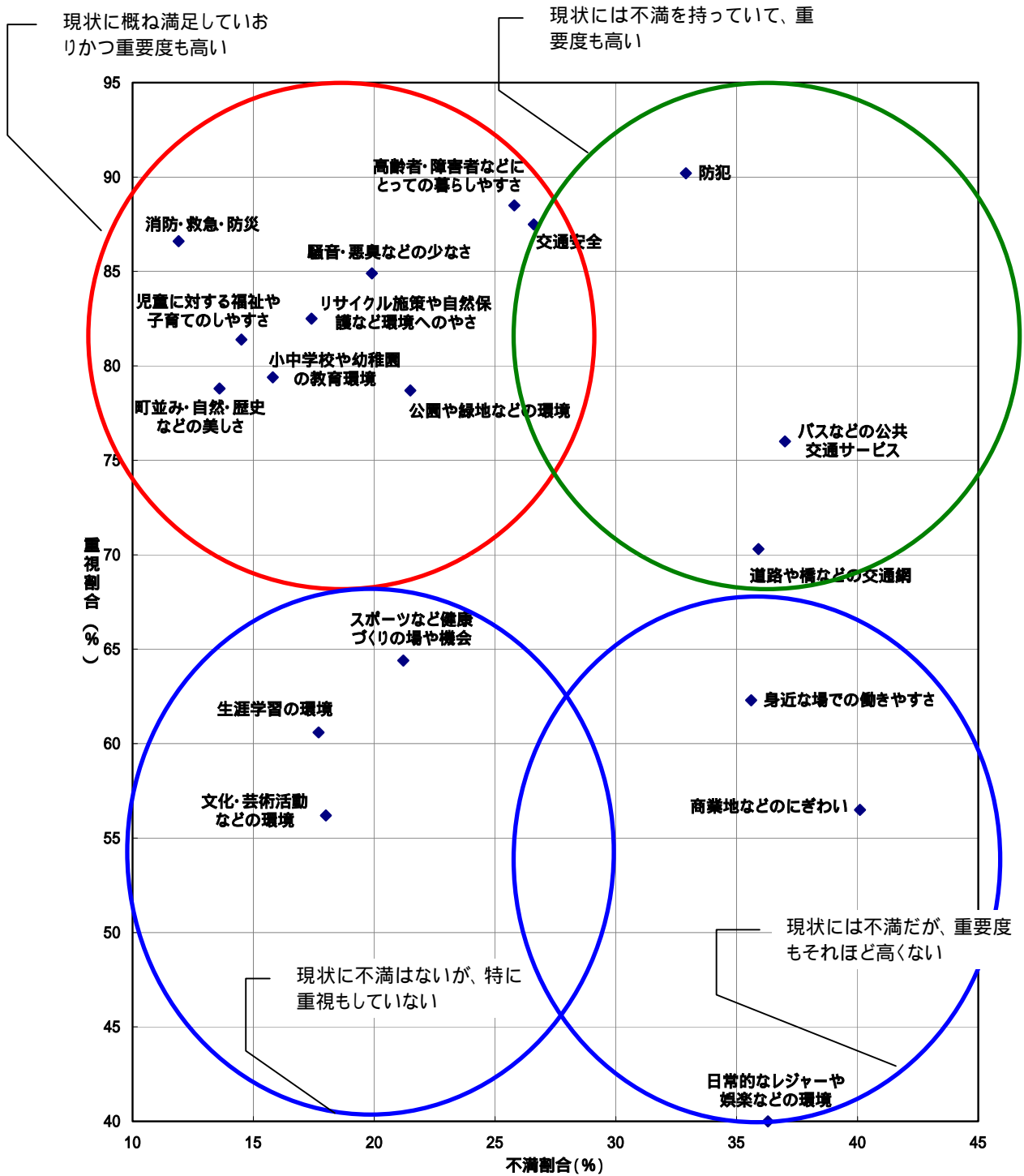
今後重視すべき施策(N=1842)



参考：現状の不満割合と重要割合の比較

下表は、「4.市の現状に対する満足度」における、各項目別の不満度(横軸)と、「6.今後重視すべき施策」の重視割合(縦軸)の相関関係を示したものです。

「防犯」については、不満割合が高く、市民も将来のこの分野へ充実を強く望んでいることが伺えます。一方、「日常的なレジャーや娯楽などの環境」については、不満割合は高いものの、市民はこの分野をあまり重要視していないという結果になりました。また、消防・救急・防災については、満足度は高いものの、引き続き重視すべき分野だと、市民が考えている様子が伺えます。



7 今後目指すべき都市像

将来（概ね 10 年後）の河内長野市が目指すべき将来像としては、「現在の市域のまま、本市の特性、特徴を活かした自立した都市を目指すべきだ」（38.2%）でトップですが、「現在の市域のまま、近隣の市町村との連携・協力をより強めた都市を目指すべきだ」（35.1%）の意見も多くなっています。一方、「近隣の市町村と合併し、政令指定都市や中核市など、市域・人口・権限を拡大した大都市を目指すべきだ」は 8.2%にとどまっています。

